

卒業後も、近くの図書館をぜひ、利用してください♪

3年生、図書館利用 ありがとうございます！ 本の完全返却をお願いします。



***冬休みの本の返却 1月14日(金)まで。**

***3年生本の完全返却 1月18日(火)まで。**

小論文対策等で本が必要な3年生には、1月18日(火)以降も、本の貸出をいたします。個別に対応するので、司書にご相談ください。

*借りている本を紛失した3年生へ…

1月28日(金)までに弁償をお願いします。現金ではなく、紛失した本と同じ本を現物でご用意ください。古本などで定価より安く購入した物で構いません。図書館の本は税金で購入している公共物です。よろしくお願いいたします。



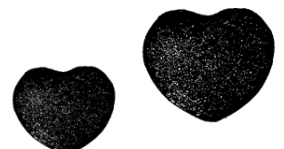
いろいろあります！ 図書館の種類



| | |
|----------------|--|
| 学校図書館 | 日本では「学校図書館法」により、すべての学校に図書館の設置が義務づけられています。小・中・高と皆さんが慣れ親しんできた学校の図書館です。 |
| 公立図書館 | 市町村、都道府県などの自治体が設置している図書館です。大分県立図書館や竹田市立図書館などは公立図書館です。 |
| 公共図書館 | 「公立図書館」と、法人等が設置する「私立図書館」などの総称です。 |
| 大学図書館 | 大学の学生や教職員のための図書館です。近年は、情報発信や公共図書館への支援、地域住民への開放など、様々なことを行っています。 |
| 国立国会図書館 | 国会議員の調査研究や行政・司法を支援し、日本国民のためにもサービスを行っています。世界各国では、国内で出版された本を特定の図書館に納める「納本制度」があります。納本図書館には、国内の全ての本が集まることになっているのです。日本の納本図書館は国立国会図書館です。 |
| 専門図書館 | 企業の図書館、各種研究機関（研究所、学協会、大学など）などに設置される図書館です。その組織が必要とする専門的な本が集められ、一般には公開されていない場合があります。 |

忙しい高校生活。卒業し、進学や就職してからこそ、大学図書館や公共図書館など、身近な図書館を活用してください♪

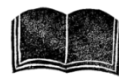
図書館同士は、本を協力して貸出するシステムなどがあり、ネットワークで繋がっています。



考えさせられて 面白い！



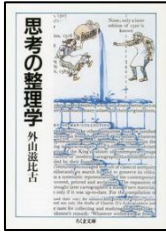
小論文対策の本



小論文対策の本は、読んで純粋に面白く、価値観が変わったり、心が落ち着いたりする本が、たくさんあります！

□ 『思考の整理学』

(外山滋比古／著、筑摩書房／発行、1986年)



東大生・京大生に根強く支持されるベスト&ロングセラー。自分の頭で考え、アイデアを飛翔させるためのヒントが詰まった学術エッセイです。

□ 『感染症と文明——共生への道』

(山本太郎／著、岩波書店／発行、2011年)



感染症と人類の関係を文明の始まりまで遡って考察します。新型コロナウイルスパンデミック前に書かれた本です。

□ 『目の見えない人は世界をどう見ているのか』

(伊藤亜紗／著、光文社／発行、2015年)



視覚障がい者がどのように世界を認識しているのか、数字などのデータではなく、言葉によって想像力を働かせ、理解しようと試みる1冊です。

□ 『「聴く」ことへの力——臨床哲学試論』

(鷺田清一／著、筑摩書房／発行、2015年)



「苦痛」について丁寧に思考していく文章に、共感し、著者の優しさを感じます。「聴く」行為の哲学的可能性について考えさせられます。

2021年一般選抜の小論文試験で登場回数が多い著者は、外山滋比古さん(6回、言語学者)、山本太郎さん(6回、教授、医師)、伊藤亜紗さん(5回、美学者)、齋藤孝さん(4回、教育学者)、鷺田清一さん(4回、哲学者)などでした。

進路指導室にある『2022年受験対策 全国大学小論文入試 2017～2021 出題内容5年ダイジェスト』(旺文社／編・発行、2021年)に詳細が載っています。進路指導室には、進路に関する本がたくさんあります。図書館も、学部系統ごとに小論文対策の本を置いて、コーナーを設けています。1・2年生は今のうちから図書館や進路指導室の本を手にとってみてはいかがでしょうか。

2月24日ビブリオバトル大会を行います！

2月24日(木)に1・2年生はクラスでビブリオバトルを行います。おすすめの本を持ち寄り、1人3分間、本の紹介をしてください。夏休みに書いた読書感想文の本を紹介しても構いません。読みたいと思った人が1番多かった本が「チャンプ本」です。「バトル」と名前についていますが、批判や中傷はルール違反です！他人の紹介を優しく聞き、本や相手に興味を持つ姿勢で臨んでください。「本」を通して人と人とが繋がる、素敵な時間にしましょう♪

ビブリオバトルのお手本に！ TikTok 『残像に口紅を』

人気動画サイト・TikTokで紹介された本などが売れる「TikTok 売れ」という現象が起きています。中でも小説紹介クリエイター・けんごさんの紹介した

『残像に口紅を』(筒井康隆／著、中央公論新社／発行、1995年)

が話題です。章が進むごとに50音がひとつずつ消えてしまうという実験的SF小説。例えば、「あ」が消えると、「愛」も「あなた」も消えてしまう・・・という物語です。

TikTokの本の紹介動画には、読んでみたい！と思わせる力を持つものがあります。ビブリオバトルのお手本に良いかも知れません♪

